



有限会社 吉田工業

vol.12

2023年12月15日発行





建設工事部 主任

MURAYAMA HIROTO 村山 紘斗

建設工事部に所属する村山紘斗さんが、有限会社吉田工業に入社したのは2017年のこと。責任感の強さと誠実な仕事ぶりを買われ、2023年春には主任に抜擢されました。リーダーとして先頭に立ち、さまざまな現場を取り仕切るようになった村山さんに、仕事のやりがいや信条について聞きながら、今後の展望に迫りました。

前職のお仕事内容と、

吉田工業へ入社された

きっかけを教えてください。

さい。

住宅の解体や土木作業をメインに扱う会社で働いていたのですが、屋外での業務はどうしても天候の影響を受けてしまいます。

時期によっては勤務日が極端に少なくなり、なかなか収入が安定しないので、将来に不安を覚えるようになっていきました。

結婚して家庭を持った頃、知人から吉田工業を紹介してもらい、家族の生活を支えていくために転職を決意したのです。

ただ、最初は慣れないことばかり。使う道具もまるつきり違うので、道具の名前や使い方を覚えるだけでも大変でした。それでも、先輩の仕事をよく見て、自分でも真似をして……というのを繰り返して、一つずつ仕事を覚えていきました。

吉田工業に来てからは収入も安定し、安心して生活ができています。職場環境が良く、社会保険や厚生年金、賞与などもしっかりしていて、ありがたい限りです。

**現在の業務内容と、
やりがいを感じる点に
ついて教えてください。**

現場によって業務内容は異なるのですが、現在は発電所のタービンのメンテナンスをメインに扱っています。とても精密な機械なので、間違いが起きないように細心の注意を払わなくてはなりません。最初の頃は小さなミスが重なって落ち込んでいたのですが、最近はそのようなことも減り、少し自信がつかってきました。

やりがいは、自分の頑張りをきちんと見て評価してもらえることです。上司の方たちは、年齢にかかわらず皆さんとてもフレンドリー。失敗してしまっただけでもすぐにアドバイスを仰げられるので、これまで何度も助けられました。

**主任になられてから、
ご自身のなかで何か
変わったことは
ありますか。**

リーダーとして現場を取り仕切るようになり、責任を感じる場面が増えました。これまで自分が繰り返してきた仕事でも、いざ人に指示するとなると、どう伝えれば良いか迷ってしまいますね。何かトラブルが起きれば、それだけ余分な時間がかかり、業務の進行が遅れてしまうのもプレッシャーになっています。本来なら、一つひとつの問題に丁寧に向き合わなければならぬのですが、私自身まだ主任になっただけで浅く、難しい現場では余裕がなくなってしまうこともあって…。自分の仕事ぶりに満足しているとはとても言えない状態ですが、日々の反省を次にどう生

かすか、ということは常に考えています。

**では最後に、仕事と
プライベート、
それぞれの目標を
お聞かせください。**

仕事については、これからも現場で経験を積みながら成長したいと思っています。

主任としては、若手の育成にも力を入れていきたいところ。私が入社した頃とは環境も変わり、仕事に対する考え方や意欲も人それぞれですから、自分の考えに固執せず、一人ひとりに寄り添った柔軟な対応をしなければいけません。もっと気持ちに余裕を持って、的確なアドバイスをしてあげられる先輩になれたら。

プライベートでは、日曜大工や

庭の手入れ。2022年に中古の家を購入したのですが、出張が多くてなかなか家でゆっくりできないのです。時間ができたら少しずつ手を加えていくつもりです。

落ち着いた口調の中に、仕事への真摯な姿勢がにじみ出ている村山さん。リーダーとして周囲から信頼されているのもうなずきました。自身のスキルアップと若手育成に向けて邁進するその姿に、ますます期待がかかります。

企業情報

設立年：1987年5月12日
年商：12億円

※2023年3月時点

村山さんってどんな人？

若手の期待の星と奮闘されている村山さん。親交の深い2名の方に思い出や魅力を伺いました！



建設工事部 部長
いしかわ たつひこ
石河 達彦さん

その方を一言で表すと？

若手のエース

村山さんの「すごいところ」を教えてください！

要領が良く、頭の回転も速いところがすごいと思います！

思い出エピソードを教えてください！

いろんな現場と一緒に仕事をしていますが、大変な現場でもそれを楽しさに変えて各現場と一緒に乗り越えてきたことは思い出です(笑)

感謝や激励のメッセージをお願いします！

最近では現場の責任者として頑張っていますが、何か相談事などあれば遠慮なく、何でも話してきてください。今後の成長も楽しみです！



工事部
とみやま しゅらと
富山 珠羅人さん

その方を一言で表すと？

かっこいい

村山さんの「すごいところ」を教えてください！

やったことがない仕事でもやり方を聞いて柔軟に対応している姿を見、て凄く頭の良い人だと感じました。また、周りがよく見えており、自分のミスも的確に注意してくれるので、すごいと日々感じています！

思い出エピソードを教えてください！

出張先で行ったドンキ・ホーテの千円ガチャで、村山さんが ONE PIECE (ワンピース) のカードを一発で当たったことがありました。すごく驚きましたが、そのときを振り返ると面白かったなあと感じます！

感謝や激励のメッセージをお願いします！

日頃からご迷惑をおかけしてすみません。まだまだ覚えたいことがたくさんあるので、これからも色々なことを教えてください！

社長に聞きたいあれこれ

社員の誰も「社長はどんなことをして来たの?」という疑問を浮かべたことがあるはず。この度、皆さんのハテナを解消する場を設けました!今回のテーマは「勉強とモチベーションの保ち方」です。いつ?何を?どうやって……?社長の行動原理に迫ります!

私が答えます!

答えてくれるのは……

代表取締役

よし ただ かつ

吉田 忠克 社長

質問するのはこのお二人……

建設部 いしかわ たつ ひこ
建設部長 石河 達彦 さん

なか じま てい あら
事務部 中島 晶 さん



Q2 当時勉強していた内容は

A プログラミング

自分の代わりにお金を稼いでくれる仕組みがほしかったから(笑)これからはプログラミングの時代と聞き、完全独学で始めました。約4年勉強を続け、レンタル掲示板やホームページを自作できるサービスなどを開発しましたが、まとまった収入にはならず事業化は諦めることに。「あのとき続けていれば」と思うこともあります。ホームページやアプリ作成などで今でも大いに仕事に活かしています。

Q4 モチベーション維持のため、心がけていたことは?

A 趣味でストレスを発散

挫けそうになったときには、いつもバイクでツーリングへ。これがリフレッシュ方法でした。当時、私の目標は父の後を継ぐこと。また子どもたちのために頑張らなければ、という気持ちがあったからこそ、モチベーションを保つことができたのでしょう。皆さんも目標を持って取り組んでみてください。

Q5 現在の勉強方法は?

A 新聞とビジネス書を欠かさずチェック!

勉強時間は朝の5時半~6時半までと、昼休みの1時間、就寝前21時半~22時半の計3時間ほど。朝は必ず日経新聞を読むのが日課。ビジネスでは社会情勢、テクノロジーでは他者の失敗談で勉強しています。また無料のウェビナーにもよく参加しています。「東大APET」や、バイオマス燃料の研究をしている三菱重工パワーインダストリーのウェビナーは勉強になりますよ。

Q1 若手の頃はどのくらい勉強をしていましたか?

A 1日約4時間

仕事が終わって17時半に帰宅しお風呂と晩酌を済ませたら、部屋にこもって勉強タイム!特に出張中は帰宅しても1人なので、ここぞとばかりに勉強していました。

Q3 当時の勉強方法は?

A トライ&エラー!実践あるのみ!

当時は欲しい情報が得られない時代だったので、実際にプログラミングをしながら覚えていきました。エラーが起きたらネットや参考書で調べ改善策を試し、またエラーが出たら調べる、の繰り返し。すんなりいかない分、解決できたときの喜びはひとしおでした。

従業員の皆さんへのアドバイス 困ったときに助けになる3つの意識!

1. メモ魔になりましょう。

メモ帳を持ち歩き、少しでも興味が湧いたらすぐにメモをすること。小さな気付きや情報が、後の大きな閃きに繋がるはずですよ。

2. 勉強をするなら短期集中!

ちなみに私は、試験前2週間の勉強だけで国家資格を取得したこともあります。肝心なのは試験の2週間前から、試験以外の情報を一切遮断すること。テレビもゲームも趣味も一時的に断つことで、試験用の頭に切り替えることができます。

3. ジャンルに囚われずに勉強をしましょう。

特に学んでほしいのがプログラミング。エラーが出るのもうまく動かないのも全て自分が原因ということを経験すると、仕事でも他人のせいにならなくなります。これからリーダーポジションになる人はぜひ学んでください。

実録!

私が手掛けた施工事例

吉田工業が携わる施工の現場を紹介するこのコーナー。今回は秋田県大館市で進行中の発電所建設工事について、塗装を担当する須釜さんにお話を伺いました。入社して初めての現場ということですが、着工からこれまで、どのような苦労があったのでしょうか？



工事部

すがま あいき

須釜 与揮さん

現場概要

工事名 大館バイオマス発電所建設工事

施工期間 2023年4月～12月24日

場所 秋田県大館市

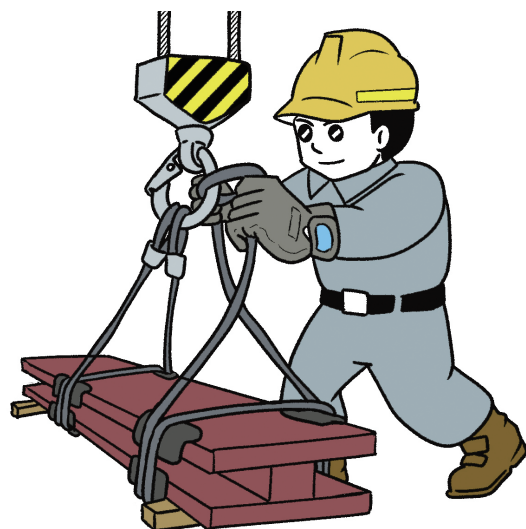
人員 吉田工業からはMAX40名

株式会社北秋容器からの依頼で、バイオマス発電所を建設する工事です。担当した業務は塗装。外装をメインに、機器類や鉄骨などの内装塗装も行いました。

□ 現場で印象的だったこと

塗装以外は初めてのことばかり!

吉田工業に入社して最初に担当した現場です。前職では塗装や管理の業務がメインでしたので、大きなものを吊り上げる場面を間近で見たのは初めてでした。玉掛けや揚重作業、グラウドなども手伝ったのですが、私にとってはどれも初めての経験。まだ進行中ではありますが、**1から基礎をつくり、建物を建て、塗装を仕上げるまでの一連を見ることができたのは良い経験**だったと思います。11月現在は、建設に関しては細かい作業や手直しを残すのみ。塗装は今がメインで、最後の仕上げとして全面的にきれいに塗り上げているところです。



玉掛けや揚重作業など、初めて経験した作業も多かったという

□ 現場の特徴

既存の工場の中に発電所を建設

夏場は気温37度ととても暑く、山に囲まれているせいか風もほとんど吹きません。とにかく暑かったことを覚えています。周りは水田と山ばかり。元々あった**木質チップ工場の中に発電所を建設**するという施工内容で、こういったケースは初めて体験しました。

また、塗装に使用した色が、ほとんどの場所でシルバー1色だったことも特徴的だと思います。何色も作る手間が省けますので、塗装する側としてはありがたい仕様です。

それほど特殊な現場というわけではなかったので、事前準備は一般的なものばかりです。塗装道具の用意と見積もりの確認、あとは所長と一緒に

に資料作成を行いました。内容は施工体制や計画図、安全作業用のシートなど。資料作成は塗装の業務とは直接関係ないのですが、前職で管理業務の経験があり、**PCのスキルもあるということ**で任せていただきました。



管理業務の経験やPCスキルが役立った

□ 現場で工夫したこと

塗装を1人で済ませるために段取りを練り込む

予算が厳しく、自分だけで塗装を終わらせられるように考えたことは工夫した点です。段取りや塗る順番を何度も考え、なるべく無駄が出ないように計画を立てていきました。**最も気をつけたことは作業の順番**です。何度も行かなければならないところは後回しにしました。一度作った塗料は長くもちませんので、**まずは1回で済むところを集中して塗装**。複数の塗料が必要なところは、全色をあらかじめ用意してまとめて持っていきまし

た。ときには最大6種類持っていったことも。現段階の最終仕上げまで、ほぼ1人で回して終了までの目処も立ちましたので、今は安心しています。塗装のスピードは遅いほうですが、きちんと段取りをして無駄なく動いた効果が出たのではないかと。段取りの下準備として、必ず前日に塗装場所の下見をしていました。作業のシミュレーションをしながら、雨が降ったらこうしよう、といったことを何パターンか考えておくイメージです。

□ 普段から気をつけていること

通路や作業場所の片付けを徹底!

きれいな現場が好きですので、余計なものが通路に置いてあると勝手に片付けてしまいます。作業の邪魔になりますし、他の人が怪我をする原因にもなりかねませんので。片付けは気がついたら常に行うようにしています。今回の現場は特に、



さまざまな道具が置きっぱなしになっていました。所長も毎回「一仕事、一片付け」と仰っているのですが、なかなか浸透していない様子。これから少しずつでも、片付けの習慣が広がっていけば良いなと思っています。

